

環境学習(出前授業)を開催しました!

【青年部会環境学習委員長】 (株)アースクリエイティブ

専務取締役 中島 浩

令和7年6月3日(火)



令和7年6月3日、防府市立新田小学校校長から直々に申込みをいただいた環境学習出前授業について、(一社)山口県産業廃棄物協会青年部会環境学習委員会のメンバーが中心となり、ごみの排出やリユース、リデュース、リサイクル(3R)などの環境問題をテーマとして座学講義と環境カルタを使って開催しました。

当日は、同校第4学年の3クラス(1組、2組、3組 計99人)を対象に、先生が4人、学校運営協議会の方が2人、(一社)山口県産業廃棄物協会青年部会員7人、同事務局1人がスタッフとして参加しました。



加藤部会長開催のあいさつ



中島環境学習委員長の熱意あふれる講義

出前授業は、各クラスごとに講義を行い、まず、中島環境学習委員長が、「ごみ(廃棄物)とリサイクル」についてプロジェクターを使って講義を行い、その後、班に分かれて環境カルタを行いました。

講義は、小学生にも分かりやすく、興味を持ってもらえるように、「ごみ」って何だろうというところから、ごみが出る事自体は悪い事でなく、どのように処理をするのか、処理をきちんとしなかったらどうなるのか、過去の不法投棄写真なども交え、子供たちにイメージしてもらうよう分かり易く話すように努めました。

実施する前は、興味をあまり持ってもらえないのではないかなと思っていましたが、講義中、児童の皆さんは、真剣にメモを取りながら話を聞いていました。



熱心に講義を聞く児童の皆さん



真剣な環境カルタ争奪戦の真最中

また、講義の後に質問の時間を設けたところ、プラスチックやガラスのリサイクル、特に、回収したペットボトルからユニフォームをつくる方法などに興味を持ったようで、かなり突っ込んだ質問が寄せられ、児童の皆さんのみならず、青年部会員たちも勉強となる収穫の多い学習会となりました。

講義に続いて、環境カルタを行いました。環境カルタは、各クラスごとに、5つの班（各班6～7人）に分かれて行い、青年部会委員の読み手がカルタを読み上げると、皆さん、声を上げて賑やかにカルタを取り、なかには、複数の児童が同時に1枚のカルタを取り合う場面もあり、じゃんけんで取り手を決めていました。また、カルタを取った後は、その内容を全員で復唱し、内容の理解を深めているクラスもありました。



ますます白熱する環境カルタ争奪戦



環境カルタの一例

児童の皆さんの元気な声に参加スタッフ全員、元気とエネルギーをもらった気がします。ありがとうございました。

今回の環境学習で3Rの意味もしっかりと理解が深まったようですし、ごみの分別や出したごみがどうなっていくか、どうリサイクルされていくのかなど家庭で話をするきっかけになったのではないかと思います。

小さな取り組みではありますが、これらが地域での取組の推進、そして子供たちの未来が住みやすい綺麗な街になる一助になればと思います。

また、今後、3Rの推進に子供たちが率先して取り組んでいき、環境について考え、主体性を持って活動してくれることを期待しています。

なお、後日、新田小学校から、お礼の手紙とともに、参加した児童の皆さんひとり一人が書かれた、お礼や感想の文集が送られてきました。「学習会に参加してごみやりサイクルについてよく理解でき、今後は、これらのことに注意していきたい。」「学んだことを家に帰って家族と話し合った。」など学んだり考えたことがそれぞれのことばで書かれていました。防府市立新田小学校のみなさんありがとうございました。



小学校から届いたかわいらしい礼状、作文集（表紙のみ掲載）

《環境学習について》

環境出前講座は随時受付しています。

出前講座を希望される方は当協会（083-928-1938）までご連絡ください。